

「今だけ、金だけ、自分だけ」が本望か！

英国の学者、コリン・クラーク氏が説明した。

自然界における再生産と金融市場で利益が生み出されるスピードの違いについて。

1万ドルで売れるシロナガスクジラが世界に7万5,000頭いるとして、

自然の摂理をふまえ、種が持続できる年2,000頭を捕獲し続けるとする。

毎年2,000万ドルが手に入り、将来にわたって漁が出来ることになる。

一方で、一気に全頭捕獲し7億5,000万ドルを手にし、それを年率5%で運用出来れば毎年3,750万ドル手に入れられる。種の保存を考えず、金融で儲けたほうが得をすることになる。

人類はクジラの将来について考える余裕ができた。

でも同じ人間を思う余裕はなくなっている。

短期金融資本主義が行き過ぎて、経済的格差や階層の固定化が社会問題となっている。

ところが人はいざ「投資、儲け、利益」となると倫理観は吹き飛んでしまう。

「今だけ、金だけ、自分だけ」になってしまう。

世界全体の成長率が3%程度。

投資になると1、2年で倍にしなければならぬと思っている。

一度ここで立ち止まって考えてみてはどうだろうか。

取締役最高投資責任者 兼 運用調査部長

草刈 貴弘



さわかみ投信株式会社

<https://www.sawakami.co.jp/>